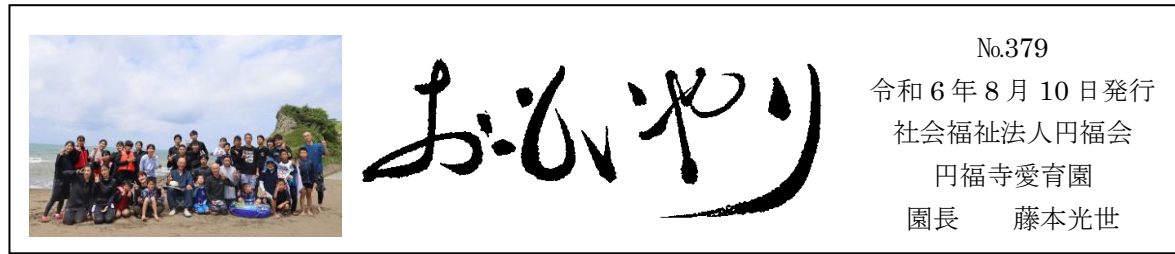


今年も臨海学習があり、みんなで海に行ってきました。



## 根っこ

園長 藤本光世

県は、家庭的養護推進計画を見直して、新たに令和11年度までの計画を立てるために、研修会を開いています。研修会では新たな「パーマネンシー保障」という概念に焦点が当てられて、7月12日には県庁講堂で子ども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 調整係長 福井 充氏による「パーマネンシーをめざす実践と施策」と題して講演会が開かれました。

パーマネンシー保障とは、どんな意味なのでしょう。Permanentは形容詞で、昔、髪にパーマをかけるという言葉があったように、壊れないとか永続的とか、永久的という意味があります。Permanencyは名詞です。ですから、生涯にわたる永続的な支援を表しているのだろうかと思っていました。それは、大変なことで、養育者の覚悟がなければできません。生涯に発生する様々な問題の保証のために、養育者は振り回され大きなリスクを背負いこむことがあるかもしれないのです。

ところが講演を聴いてみると違ったのです。パーマネンシー保障とは、措置されたこの生涯にわたる「根っこ」を作ることでした。

「根っこ」という表現は、生きていくうえで重要な柱を表している、「いい表現」と思いました。根っこがなければ倒れてしまいます。伸びることもできません。枯れてしまいます。水に浮いてなら、浮草のようにふわふわと、風に任せて浮遊します。そうです。生きていく上では「根っこ」が必要なのです。

では、皆さんにとって生きるうえでの「根っこ」は何でしょうか。根っこがしっかりしていれば、自分から伸びようとします。自分の力で生活できるように努力します。上田高校の校歌に「我に至高の望あり 挙世の浮華に迷わむや」とあるように、世の中が、やれスマホだ、やれSNSだと浮かれていても、そういったものに迷わされないのです。「我に至剛の誇りあり いざ百難に試みむ」のように、困難に自分から立ち向かうのです。

それは子どもが幸せになる道なのです。問題は、誰が、どんな養育で、どのようにしたら「根

っこづくり」ができるかです。講演は、実親または里親がやらなければならない、できる、といった主張で、そこにはどうすればできるのかの具体的な養育実践事実の報告はありませんでした。児童養護施設でいえば、家庭的養護として進めている小舎制でどのように養育すれば子どもの「根っこづくり」ができるのかは全く示されていないのです。このことを実践事実で発表しあい、競争しあい、向上しあい、みんなで頑張れば、子どもたちの幸せに結びつくでしょう。私は子どもの「根っこづくり」養育に大賛成です。

ところで、児関係者や県子ども家庭課の養育関係者はもちろん一般の大人の皆さんは自分の生きるうえでの「根っこ」があるのでしょうか。自分の「根っこ」をどうとらえているのでしょうか。実は日本人が「根っこ」を忘れてしまった、無くしてしまったことに、今の社会混乱の大きな原因があるように感じるのです。私の父（愛育園創設者）は創立五十周年記念誌「大きな家族」に次のように書いています。(12p)

### 7、国家、国民に未来と希望がない

今日の日本国家にも日本国民にも、未来を志す使命感も責任感もないのです。したがって児童にとって二十一世紀に生きる輝かしい希望がないのです。希望も、目的も、夢もない、虚無的な失望は、オウム教の信者が、神秘的、漫画的な幻想の世界に迷い込んだように、魂の空白な、夢遊病者のような若者が増えています。中学生に二十一世紀の希望を問うと過半は「何もねえや」と答えるそうです。希望のない国民、使命感も責任感もなく、ただ利益だけを求め、ただ目先の景気回復だけを願っているだけで、景気を回復して何をするのかという目的のない国民、このような有様の中で、これからの子育ては何のためにあるのか。今、円福寺愛育園はこれからの児童養護施設(社会的養護)はいかにあらねばならぬかという問題を自らに問うているのであります。(中略)

この児童(児童養護施設に措置されている児童)たちこそ、現在の無意味な繁栄と敗戦による日本国民の精神的価値崩壊の犠牲であり、さらに希望なき世紀末がもたらした不憫な児童たちなのです。この児童をいかにして自立させるかということは、日本をいかにして自立させるかであり、社会の貢献できる人格に育てようということは、日本国民が世界に尽くす国民になることであり、この施設の子どもたちにプライドを与え、人生の生きがいを与えるということは、日本国民にプライドを与え人生の生きがいを与えることであり、更に人類の一人として地上に敵なき世界一家の未来を創造することができる可能性を証明することなのであります。これこそが今日の家庭、学校、国家が目指すべき最も重要な問題中の問題なのであります。この時児童養護施設は、家庭、学校、社会、国家のあるべき未来を育てる度相談にたえ、時代をリードする重要な存在とならねばならぬことを自負して、がんばらねばならないのであります。

後段の部分は、富沢ホーム長が創立七十五周年記念誌「子どもの幸せのために」で引用していますので、そちらもご覧になってください。(133p)

子どもの「根っこづくり」がこれほど重大で重要な課題であり、それが日本の国民の意識の在り方、心の在り方にも関係しているほどであることを社会的養育の関係者はどれくらい自覚しているのでしょうか。こんなにも素晴らしくやりがいのある仕事であることをどのくらい自覚しているのでしょうか。残念ながら「根っこ」を提示してくれた講演者も、そこに居合わせたこども家庭課の主催者も、参加した皆さんからも、伝わって来ませんでした。

愛育園は、初代園長藤本幸邦が遺したこの願いの実現のために、職員及び関係者が一丸となってがんばり、子どもの事実として示そうと思っています。

## 夏休み前半戦スタート

主任指導員 T・M



7月下旬から夏休みが始まりました！毎日の様にプールに行ったり、男の子たちは池や湖にブラックバスを釣りに行ったり、女の子たちはキーホルダーなど工作やおしゃれなデザートやお菓子作りをしたりして活動的に過ごしています。

普段は学校生活が中心なので、なかなか子ども達と時間を共有できないのですが、夏休みは沢山「遊び」の時間を共有でき、職員の方も充実し過ぎているほどに濃い時間を過ごしています。

さて、毎日充実した日々を過ごしている中でも、7月30日の臨海学習、8月1、2日のあおぞらホームキャンプが非常に

楽しかった行事として印象に残っているのでその話を書きたいと思います。

まず、7月30日の臨海学習ですが、こちらは本来7月15日の海の日に行く予定でしたが、当日の天候不良や気温の低さから延期する事になり、夏休みに入ってから行く事にしました。私は、変に間が開いてしまった事や夏休みに入って毎日活動的に過ごしていた疲労感で、実は少し臨海学習に対する情熱が薄れていました。また、当日は90%の降水確率の中、奇跡的に雨が降らず、晴れたり曇ったりではあったものの、前日までの雨で海は濁っていて波も荒い状態だったので心配のほうが強かったです。しかし、いざ海での遊びを始めると子どもも私も他の先生方も大はしゃぎで盛り上がりました。荒波だったので、さすがに生き物を捕まえる磯採集は叶いませんでしたが、とても楽しい時間でした。そして、嬉しかった事が2つあります。1つ目は、波が荒く決して良いコンディションではなかったのですが、誰一人自分勝手に危険な事はしなかった事です。かといって遠慮気味に遊ぶという事でもなく、波の荒さに合わせて丁度いい遊び方をしていた様子を見て、集団行動が身につけている事はもちろん、それ以上に「さすが、日頃から外遊びを沢山経験しているだけあって、遊び方の見極めがプロだなあ」という関心した気持ちにな

りました。2つ目は、実は最近、対応の難しさを感じている高校生の男の子がおり、その子が臨海学習を思い切り楽しんでた事です。その子は近頃、流行りや見た目ばかり気にして、周囲を意識した言動行動ばかりするようになってしまっていて、それまでは自然遊びが大好きな子だったのに、今回の臨海学習でも「髪型が崩れるから海に入る気ない」とか「海の水とかチョーきたねえーし」とか否定的な発言ばかりして、みんなの士気を下げてしまっていました。そういった発言だけでなく、どこか顔つきも悪くなってしまったような気がしていました。しかし、いざ海で遊び始めた途端、キラキラした笑顔で人一倍楽しんでいて、さらには「手漕ぎボートでテトラポットまで行こうよ！ロープをつないでいけば安全ですよ」と色々提案したり作戦を練ったり夢中で遊んでいる中で他の子や先生(私)と以前のような裏表の無いコミュニケーションの取り方に戻っていました。私はそれがすごく嬉しかったです。もちろん日常に戻ってくれば、また元に戻ってしまうのですが、臨海行事を通して、その子の心根の優しさを感じられたことにとっても安心しました。



8月1、2日には「あおぞらキャンプ」と題して、中高生の男の子11人と北竜湖キャンプ場に行きました。全体行事としての「愛育園キャンプ」とは別にホーム職員で計画を立て、思いきり遊びました。釣り、水泳、ボート、テント、虫捕り、ご飯、花火、たき火、星空、流れ星、本当にもうずーっと遊んでいました。何時間もひたすら遊べるのってすごい才能だと思います。

夜の11時になって、さすがもう寝ないといけないと慌てて就寝させたと思ったら、朝4時過ぎにぞろぞろと勝手に起き出して、4時半にはボート漕ぎして遊んでいる子ども達の姿を見て、本当に純粋でいい心を持っているなあと思いました。とはいえ、まさかここまでエネルギーに溢れていると思わず、一緒に計画した職員と、「準備は本当に大変だったけど、ここまで楽しみ尽くそうとする子供の一面を知れて良かった」という話をしました。またアクティブな事だけでなく、満点の星空を見て静かに感動している男子たちの姿も意外でした。私も流れ星ってあんなにしょっちゅう流れるものなんだという事を初めて知りました。

この後、全体のキャンプが控えている所ですが、今年あおぞらキャンプをやってみて、本当に良かったです！

私は、子供の時に経験した遊びは大人になっても忘れずに残っていて、その事を思い出していると気



持ち晴れたり、その記憶が心強い気持ちにさせてくれたりします。

子ども達が大人になった時、沢山遊んだ経験が心の支えになってくれて、いざという時に力強く踏みとどまれる糧になって欲しいと、「遊び」の中にはそんな願いも込めています。

夏休みもこれから後半に向っていきます。私たち職員も疲れが溜まってきている所ではありますが、子ども達の充実した顔に結局は「やって良かった」という気持ちになり、それをずっと繰り返しています。みんなと協力し合って後半戦も良い夏休みを過ごしたいと思います。



### 臨海学習

あおぞらホーム F・K

7月30日に円福寺愛育園では、今年も新潟県の鯨波海水浴場に行き臨海行事を行いました。

元々は、7月15日に行う予定でしたが、雨天のため延期となってしまっていました。延期が決まった時は子どもたちも職員も非常に残念に思っていました

が、7月30日にやっと今年の臨海行事を行うことができ、子どもたちも非常に嬉しそうにしていました。7月30日も天気予報ではあまり良い天気ではない可能性もありましたが、実際に行ってみると、少し波は強かったですが、雨は降らず時間によっては太陽も出ており、無事行事を行うことができました。

海では、浮き輪やフィンなど海で使う道具をたくさん持っていき、子どもたちもそれを使ってとても楽しそうに遊んでいました。なかでも、ボートは非常に好評で、泳ぎでは行けない所もボートを使って行ってみたりと去年は使えなかったボートという新しい海の楽しみ方ができ子どもたちも非常に満足していました。

一度延期とはなってしまいましたが、今年も海行事を開催することができ、そして海行事の中でもケガ等なく楽しい行事にすることができ、また1つ子どもたちの夏休みの楽しい思い出ができて非常に良かったなと思います。また、来年も機会があれば子どもたちと海に行ければと思います。

### 臨海学習

まごころホームN・R

7月30日に臨海学習を行いました。悪天候のため本来予定していた日から延期していたので、無事に開催できて良かったです。

当日は、雨の予報だったため海に入れるのかと子どもたちも心配していましたが、天候に恵ま

れ海に入ることができました。ですが、波が高く荒かったため深いところまで入るのは危険と判断し、最初は砂浜で貝殻を探したり、波から逃げたりしながら楽しんでいました。その後、波もだんだん落ち着いてきたため子どもたちはボートを楽しみました。ボートは、乗るのが少し難しいようで最初はとても苦戦していましたが、だんだん慣れてくると波に合わせてボートに乗っていてとても上達していました。打ち寄せてくる波に怖がっている子もいましたが、みんなボートから降りてくるととても良い笑顔でした。ボートを気に入り何度も乗っている様子がありました。他にも、貝殻を一生懸命探している子もいました。不思議な形やいろいろな大きさの貝殻があったり、すごく小さな貝殻を見つけたりしている子もいました。たくさん集められてとても嬉しそうでした。

後半は、深いところで浮かんだり、波に乗ってみたりと前半より少しレベルアップした動きをしていました。最初に「足がつかないところは怖い」と言っていたMちゃんでしたが、職員と共に深いところで浮かべていました。浮かべていたことを褒めるととても嬉しそうにしていました。

私が想像していた以上に、こんなことができるんだと子どもたち一人一人の発見がありました。また、楽しむことももちろん大切ですが、海がとても危険な場所であることを再認識することができました。事故がないように視野を広げ、常に全体を見られるようにしなくてはならないなどより感じました。

とても楽しい臨海学習になりました。

### 臨海学習児童感想 あおぞら児童

今年も行きました、臨海行事、天気も心配でしたが、何とか行けました。

一年ぶりに来た海では、今年も少し波が荒れていました。午前では、去年と同じで砂浜の方で遊びました。波が強かったですが、ボートに乗ったりいろいろな遊びをしたのでとても楽しかったです。

昼食を食べました。昼食はうどん、海で食べるうどんは、とてもおいしかったです。

午後では、少し海岸の方に行ってみて、波が強くて魚は取れませんでした。崖の所でカニがとれたので良かったです。

今年も波が強くて魚が取れなかったが、それでもいろいろな遊び方をできて楽しかったです。また来年も、できれば今度こそ晴れてほしいです。

中3 F・Kくん



今年の臨海学習は、7月15日に行われる予定でしたが、天気の影響で延期となり、7月30日



に行われました。7月30日は、天気予報では、降水確率90%以上の雨予報で、バスに乗っているとき心配でしたが、現地に着いた時には雨は降っていませんでした、本当に良かったです。

今年は、ずっと浜辺で遊びました。波が高くて、すごく楽しかったです。ボートにも乗りました。今年も楽しい臨海学習になってよかったです。来年もまた行きたいです。

高1 M・Yくん

今年の臨海行事は1度は延期となり、2回目も雲行きがとても怪しかったです。しかし実際に行ってみると、快晴ではありませんでしたが、降水確率90%を覆して晴れとなりました。

目標としていた魚を10匹以上捕まえるというのは、そもそも採集ができる波の高さではなく、達成できませんでした。ただ、積極的に手伝うというのは、自分から見て、なかなかできていたんじゃないかと思います。積み込み、荷下ろし、荷物運び、主にこういった面で率先してお手伝いできたと思います。夏休みはキャンプもありますので、全体で動く場面では自分が率先して行動できるようにしたいです。

高2 S・N

### 臨海学習児童感想 まごころ児童

7月30日に鯨波海岸に行きました。鯨波海岸は、新潟にあってバスで1時間30分くらいで目的地に着きます。みんなで海の手前側で最初は遊びました。その後にボートをやりました。ボートは4人乗りくらいの大きさで、海の波でざぶんざぶんしていました。順番で乗って、いっぱい遊びました。待っているときは、貝殻拾いをしていました。午後の海遊びは、海の中に入りました。海はけっこうにごって、顔をつけることはできませんでした。でも、海で浮かんでいました。そして、たまたま口に水が入って「しょっぱい！」と言いました。海は楽しかったです。

(小5・Rさん)

7月30日にみんなで鯨波に行きました。本当は7月15日に行く予定でしたが、新潟県は雨で波が高く、危ないとのことで延期になりました。でも30日も晴れたり曇ったりで天気があま

りよくなく、波が高かったのも、はじめは足まで入っていましたが、ボートにT先生が乗せてくれました。ボートには3、4人で乗り、私は真ん中だったので、みんなに「しっかりオールでこげー！」って言われて漕いでいましたが、結構漕ぐのが大変でした。でも、たくさんボートに乗せてもらえて楽しかったし、T先生が疲れてしまうくらいまでひもを引っ張ってもらい、遠くまで行ってもらったので、しっかり感謝したいです。午後はライフジャケットを着ていたのずっと浮かんでいました。波が来た時が一番楽しかったです。今回は天候が悪く、魚を捕まえることができず、浜辺ですべて遊んでいましたが、それもすごく楽しかったです。今回は、ボートに乗ることができて最高の海行事になったと思います。それは、園長先生がボートを買ってくれたのと、先生たちが談話室に色々貼ってくれたからだと思っています。ありがとうございました。次はキャンプに向けて頑張りたいです。

(高1・Mさん)

今日は待ちに待った臨海学習がありました。7月30日の天気もあいまいで、雨が降っていたけど、途中で段々と天気が良くなってきたので良かったです。私は、貝殻をたくさん拾いました。海の中だけしかきれいな貝がないと思っていたけど、砂浜にもたくさんの貝殻があつてとても夢中になって拾い集めました。今年の海はとても荒れていて魚を取ることはできなかったけど貝殻のところに生きている貝がいて、一匹は生き物を捕まえることができたので良かったです。とても楽しい一日にすることができたので良かったです。

(高1・Tさん)

### キャンプに向けて

あおぞらホーム Y・S

子ども達は夏休みに入りました、休み中は様々な活動を予定していますが、大きなイベントとしては8月9日、10日に愛育園キャンプがあります。

今年のキャンプは自分が主となって進めていく事になりました。大きな行事の担当となるのは今回が初めてであり、とても不安でいっぱいですが自分一人だけでなく各先生方の力を借り、子どもたちの力も結集して全体で作上げていき良いものにしていければと思っています。自分の頭の中で色々シミュレーションし



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

たり、思いつく限りの細かい所をピックアップしてひとつずつクリアしているのですが次から次へと心配な部分が尽きずに湧き出ており当日までドキドキが止まりません。でも、心配の想像なんて所詮架空のものなのである程度割り切って今、目の前のやれるべきことをやっていくのみであまり色々なことにとらわれ過ぎて頭がストップしないようにしていきたいと思います。

## キャンプに向けて

あおぞらホーム S・S

今年も例年と同じく 8月 9、10 日に小田切錬成センターにて、愛育園キャンプを行います。今年で戸隠から宿泊地を変えて 3 回目のキャンプとなります。昨年までの様子を見てみると「もう 1 泊したかったな」と子どもから感想もあったり、子どもの期待度も高い行事になりますので、行って良かったなと思えるような行事にできるよう準備を行っていききたいと思います。キャンプと言えば、入職以来、毎年必ず開村式の演者や仕切りを任せられ、今回も出だして盛り上げられるように頑張ることと、実行委員という役割も頂いているので、全体に目を配り、職員も子どもも次に何をやればいいのか困らなくなるよう頑張りたいと思います。下見にも同行させてもらい、初めて宿舎の所長さんともお話をさせてもらいました。今年度あおぞらホームでは陶芸教室でお邪魔させてもらう機会がありましたが、他にも全く行ったことがない、竹馬教室をやって、教室として成り立つか心配でしたが、子どもも大人も楽しんでもらい大盛況だったというお話を伺いました。キャンプの利用を提供するだけでなく、新しい試みに挑戦する姿勢がとても素晴らしいと思いました。当日はとても賑やかなキャンプとなるとと思いますが、使わせて頂く錬成センターの方々にも感謝、敬意を払い、ひと夏の思い出に残るような楽しいキャンプにできたらと思います。

## あおぞらホーム食

あおぞらホーム A・Y

7月 20 日にホーム食を行いました。今回のホーム食では、キッコーマンのおかずシリーズを使って調理をしました。野菜炒めや肉豆腐などを作り、大皿に盛り付けをしてバイキング形式で食べました。子どもたちも野菜を切るころから、肉を切ったり、炒めたりと子どもたちも楽しみながら調理をしました。前回のクックドゥを使ったホーム食に引き続いて、市販の物を使った調理は簡単で美味しく、将来子どもたちが一人暮らしをした際に役立つものになるのではないかなと思います。

## まごころホーム食

まごころホーム T・M

(令和 6 年 8 月 10 日発行 月刊「円福」527 号付録)

今回のホーム食は、韓国料理を作りました。冷麺、ハニーバターチキン、チヂミ、チョコムースの 4 品を作りました。私は小学生と一緒に冷麺に乗せる野菜を切ったり、チヂミを焼いたりしました。チヂミは小学生の R ちゃんと M ちゃんがたくさん手伝ってくれて一緒にひっくり返すこともでき、楽しく作ることができました。ハニーバターチキンは一度揚げてからソースを絡めたので、大変な作業も多くありましたがみんな慣れた手つきでやっていて成長を感じました。最後にはおいしく食べることができました。



## あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

梅雨が明け、厳しい猛暑が続いています。

子どもたちは一学期を無事に終え、待ちに待った夏休みに入りました。まだ始まったばかりですが、連日プールや釣りに出かけるなど、充実した日々を送っています。また、8 月にはキャンプ行事が予定されています。私自身、キャンプ行事に参加するのは初めてなので不安もありますが、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごせたらと思っています。

今後も厳しい暑さが続くと思われませんが、子どもたちの体調に十分気を配りながら、楽しい夏休みにしていきたいと思っています。

## まごころホームだより

まごころホーム T・M

梅雨が明け、連日厳しい暑が続いています。まごころホームの子どもたちは暑さに負けず、毎日元気に過ごしています。一学期が終わり、夏休みに入りました。一学期は進級や進学で新しい環境になり、毎日頑張っていた子が多かったので、長期休みはゆっくり過ごせる時間になった

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ら良いなと思います。夏休みは園で過ごす時間が多くなるので、最後まで子ども達が楽しく過ごせるようサポートしていきたいと思います。また、行事やイベントも多くあるので、ホームで丸となって取り組んでいきたいと思います。

## 調理室だより

調理員 O・H

夏休みに入り中庭でプール遊びをしてはしゃぐ幼児さんの笑い声、体育館で元気に走り回る足音などが調理室まで届き毎日とても賑やかです。臨海学習、キャンプの準備も始まり楽しい夏休みのスタートです。

### 7日 七夕メニュー

冷麺、唐揚げ、スペシャルゼリー、牛乳

### 24日 土用丑の日メニュー

うな丼、浅漬、味噌汁、グレープフルーツ、牛乳

### 28日 ステーキ食

ステーキ、ライス、フライドポテト、コーンバター、ブロッコリー、かき氷

### 30日 Y君誕生日メニュー

サンドウィッチ、鶏の唐揚げ、マセドアンサラダ、メロンゼリー、牛乳

15日に臨海学習のお弁当として、サンドウィッチと手作りチャーシュー入り冷やしラーメンを用意しましたが悪天候で延期のため愛育園で美味しく頂きました。

(令和6年8月10日発行 月刊「円福」527号付録)

